

Stay Home3：最初の生命は細菌/コロナウイルスの起源は？ヒトとの関連は？

R2,7,17 御法川齊

危惧していた通り自粛緩和で感染者が増大して来ました。

そんな中、新聞広告で知った「宇宙からいかにヒトは生まれたか」更科功：新潮選書を図書館で借りて勉強。宇宙 138 億年前、地球の形成 45 億年前、生命の起源は 40 億年前、深海の 80 度 C の熱水噴出孔で生まれたたった 1 種の好熱細菌。植物の元は 27 億年前に出現したラン藻。その後 12 億年前、終に多細胞生物に進化し、以後、数億年前に魚に進化、爬虫類/鳥、哺乳類に分化、700 万年前には 2 足歩行類人猿から急速にヒトに進化。その過程でヒトの DNA の数%がウイルスによって運び込まれた。良いウイルスも居る。でも今後、数百万年で絶滅すると想定される。生き残るのは細菌のみ。地球の余命も後 10 億年。

* 本図書は宇宙創成から地球の誕生、生命が生まれ進化する様を生物と無生物の両方の歴史を織り交ぜ 270 ページのコンパクトに初めて描いた好著。

一方、樹木たちの生活は如何か？「樹木たちの知られざる生活」P,ヴォールレーベン：ドイツ森林管理官、早川書房によると～～

樹木たちは子供を教育し、音に反応し、情報交換し、時には助け合う（共助の心もある）。一方で熾烈な縄張り争いも。長い時間掛けて移動もする。（小宅でもスズラン群落が日当たりを求めて移動中！）樹木の健康は森林の生態系の安定状態で決まる。環境変化への反応が遅く急変を好まない。虫やウイルスに対しても人間の免疫力同様に健康バランスを崩していなければ抵抗力がある。松林はフィトンチッドの働きで自己消毒して、ほぼ無菌状態で清々しい。

* 樹木への愛に満ち欧米でベストセラー。長年の科学的な研究と自らの観察を折り込み。

更に、動物、岩石は如何か？「モノに心はあるのか」信州大森山准教 によると～～

ダーウインは進化の自然選択説を提唱。動物の進化論から「心の連続性」は正しいことが明らかになりつつあり心はヒトに特有でなくあらゆる動物に備わる。心は確定できないが、確信できる不確かな存在で動物の生得的行動（一般に本能と言われる行動）はその証左。

動植物ばかりでなく岩石にも心はある！と考えれば石は静止・忍耐と言う行動を発現している。

石器職人は石の心を知っており“割って遣った”ではなく“割れてくれた”と感じている。打たれて響くので軽く叩いて割れる。⇒小生の青年期からの人生訓なので驚く！これも仕事に苦難する中、気晴らし 1 人ハイクで登山した茨城県北部の 658m 豎破山(たつわれ)にて直径 7m もある太刀割石(たちわり石)なる玄武岩の固い大岩がスパッと真っ二つに割れて山腹に鎮座する様に驚く！徳川光圀が領内巡歴の際に名付けた。奥州に向かう源義家が戦勝祈願で太刀を振り上げた結果と言い伝えられ誠に祈願の結果の奇岩である。（長文をお読みいただき有難う御座います。）

